

# ☆新型コロナウイルス感染防止対策☆

弊社では、新型コロナウイルス感染予防のため、以下の取り組みを実施しております。

## 1. 少短業務継続のためのリスク最小化

【本社事務センター・損害サービスセンターは業務フロアを2か所に分散、営業はリモート】  
もしも、罹患者が出た場合でも事務センターおよび損害サービスセンターを存続させるために業務フロアを2か所に分散します。営業はリモートワーク（在宅勤務）を行います。

・本社事務センター  
ビル1階と2階に分散

・損害サービスセンター  
東京支店と本社に分散

・営業  
リモートワーク

## 2. 3密リスクの最小化

- ◎社員のデスクの間隔確保
- ◎デスク周りにアクリル板設置
- ◎室内の換気＋サーキュレーターによる空気循環
- ◎社内外を問わず複数名での飲食禁止

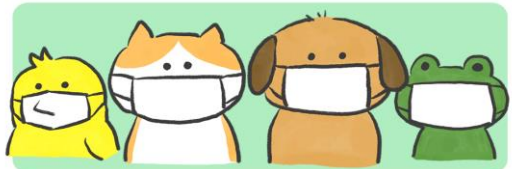


## 3. 日常の業務

- ◎濃厚接触者を限りなく“ゼロ”にするための環境づくりを行っております。
- ◎出社時の「検温」「手洗い」「うがい」「手指消毒」を実施
- ◎マスクの着用
- ◎窓、ドアを開けての換気
- ◎デスク及び社内備品の消毒（毎日）
- ◎会議は原則web会議システムにて実施
- ◎やむを得ず、対面での会議や打ち合わせを行う場合は、人と人との間隔をできるだけ空け、可能な限り真正面を避け、短時間で済ませる

## 4. 社外との面談時

- ◎マスク着用
- ◎面談前に携帯用消毒液による手の消毒
- ◎手袋着用



## 5. 感染が疑われた場合の対応

- ◎ 37.5℃以上の発熱がある等の感染が疑われる場合は、直ちに医療機関を受診してPCR検査を受検し、該当社員が所属する部署の社員は検査結果が確認できるまで自宅待機とします。
- ◎必要に応じて事業所フロアの消毒を実施

## 6. 陽性者が出た場合の対応

- ◎濃厚接触者を最小限に抑える努力を行うことで感染拡大を封じ込めます。（濃厚接触者の判断については保健所に委ねます）
- ◎陽性者が出た部署の社員は自宅待機とし、フロア分散した他方の部署が業務を引き継ぎます。
- ◎本社事務センター、損害サービスセンターは2か所に業務フロアを分散しており、業務遂行に大きな支障は発生しません。
- ◎営業もリモートワーク（在宅勤務）で業務を行います。
- ◎事務所フロアの消毒を実施